

歌人たちに愛された 風光明媚の里

ふうこうめいびのさと

この地を愛した左大臣橘諸兄が玉川堤にやまぶきを植えて以来、小野小町、藤原俊成、在原業平などの歌人たちに愛され、数々の詩歌にうたわれてきた美しいまち、井手。ここには都会では失われつつある自然がいきいきと息づいています。



町の木 ひのき



町の花 やまぶき



まちづくりセンター 椿坂

沿線に立地する無料休憩所です。棚田の中、なつかしい農家風の建物でほっこりくつろげます。館内では特産品の販売の他、無料でお茶をふるまっています。

【いでちょう】 井手町

井手町は京都と奈良のほぼ中間に位置し古くから交通の要衝として栄え、東は優しい里山、西を豊かな木津川に包まれた田園風景の広がる自然豊かな町です。この自然の恵みのなか、永きにわたって人々が育み続けてきた、何気ない、だけど誰もがほっとする風景が息づいています。

企画財政課 ☎ 0774-82-6162 <https://www.town.ide.kyoto.jp>



① 谷川ホテル公園

ゲンジボタルの生息地として知られる南谷川に親しむ水辺の公園です。ホテルが飛び交う時期には幻想的な光景が見られます。



② 高神社

和銅4年(711年)に創建。現在の本殿は慶長9年(1604年)に三間社流造りで建てられたもので、京都府指定文化財です。鎮守の森は京都百景のひとつに選ばれています。



③ 万灯呂山展望台

標高約300mの大峰の山頂にあり、北は京都市、南に関西学術研究都市を一望できます。「万灯呂」の名は、雨乞い神事で大峰へたいまつ行列が行われた故事に由来しています。



④ 玉津岡神社

天平3年(731年)に橘諸兄が一族の氏寺として創建したと伝えられています。貞亨4年(1687年)に造営された本殿と太神宮神社は京都府登録文化財です。



⑤ 地藏禅院

井手の里を一望できる高台にあり、参道や院内から眼下に広がる風景は京都百景のひとつに選ばれています。毎春、見事に咲き誇る「しだれ桜」は京都府の天然記念物に指定されています。



⑥ 井手寺五重塔の基壇跡

約1200年前に建立された、橘氏ゆかりの井手寺の五重塔の石積み基壇跡があります。井手寺五重塔の基壇跡を見ただけのようにガラス窓があるベンチを設置しています。その近くには、「テオテラスいで」があり、休憩・ランチ・ティータイム等を楽しんでいただけます。



⑦ 小野小町塚

小野小町は晩年、井手寺に住み、玉川堤を散歩したという伝承があります。玉津岡神社の参道沿いに建つ自然石を積んだ塚は、その小町の墓と伝えられています。



⑧ 橘諸兄公旧趾

奈良時代に聖武天皇のもとで左大臣として活躍すると同時に万葉集の編者としても知られる橘諸兄はこの地を愛し別荘を構えました。その別荘跡です。

